

技術士 2 次試験に合格して



加嶋 慎也

(かしま しんや)

勤務先

株式会社 クマシロシステム設計

計画調査部

〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 18 丁目 1-9KS フロンティアビル

TEL 011-632-1010 FAX 011-632-1011

E-mail kashima@ksfnet.co.jp

■ 専門：水産部門(水産土木)

1. 自己紹介

私は平成 4 年に札幌で生まれ、札幌国際情報高校から北海道大学に進学し、土木工学を学びました。大学 4 年生になり、就職・進学を悩む中、当社の会社説明会に行く機会があり、港湾・漁港の建設コンサルタントという自分にとって未知の領域であることやその専門性・特殊性、北海道をフィールドにしていること等に魅力を感じ、入社を決意しました。現在は漁港計画に関する業務に従事しています。

2. 技術士試験について

建設コンサルタントという仕事上、技術士を取得することは必須だと考えていたので、入社一年目に技術士第一次試験(建設部門)に挑戦。無事、合格し、“技術士補”となりました。そこから実務経験 4 年を積み、業務内容を考慮して水産部門で令和 3 年度第二次試験に挑戦しました。

3 月末頃から試験勉強を開始しましたが、まず、業務詳細の作成で大きく躓きました。720 字に散りばめるべきエッセンスや口頭試験を具体的に想像した書き方等が全く分かっておらず、要領を得ない発散した内容となっていました。私は北海道内の海関係の技術者で構成された“北海技塾”に入塾しており、ここでは技術士である講師による添削指導が受けられるのですが、入塾当初は見るも悲しいほど赤字たっぷりで添削されたものが返却されていました。その後、締切当日まで何ターンも提出→添削を繰り返し、どうにか形にしました。この後も当塾には論文添削、面接指導と徹底的にサポートしていただいたおかげで、常に自分の現在地を確認することが出来たため、ブレずに試験と向き合うことが出来ました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

受験申込に悪戦苦闘したため、筆記試験対策に取り掛かったのは 4 月下旬からでした。とにかく勉強を習慣化したかったので、平日・休日を問わず、

毎日無理をしてでもたくさん勉強時間を確保し、“質”より“量”で勝負しました。娘が生まれたばかりだったので、勉強ばかりするのは心苦しい部分もありましたが、ダラダラと受験を繰り返すことの方が嫌だったので、家族の理解も得て、メリハリをつけて取り組みました。当初はちんぷんかんぷんだった論文も、めげずにインプット→アウトプットを続けることで、解答すべき着眼点や展開も分かるようになり、勉強の“質”も上がって自分のスタイルも構築されていきました。完成した想定論文は音読してスマホに録音し、通勤や趣味のランニングの際に聞き流して体に覚えさせ、試験当日は問題に適用するようにアレンジすることだけに集中しました。

運よく筆記試験に合格し、口頭試験に向けては社内・社外合せて 10 回以上の模擬面接を積み重ねました。想定問答だけでなく、話し方・口癖等の細かい指導を頂き、本番当日は待機中以外特段緊張もせず、練習通りの受け答えが出来ました。「これで落ちたらもう受かる気がしない」と思っていたので合格発表時はホッとした気持ちでした。

一息ついたら、技術士の別部門(建設部門、総合技術監理部門)にも挑戦したいと考えています。

3. 今後について

私は「言語化」能力の高い技術者を理想としています。抽象化・具体化問わず、データや経験に裏打ちされた深みのある技術者を目指して自己研鑽を続けていきたいです。最後になりますが、初代 iPhone が発表されたのは私が中学生だった 2007 年でした。それから約 15 年が経ち、スマートフォンのない生活は全く想像出来なくなりました。AI 等、今後ますます革新的なテクノロジーが出現する世の中で、ヒトである自分が技術者として何ができるのか、考え続けていきたいと思っています。